

認定NPO法人
暮らしネット・えん

No.81

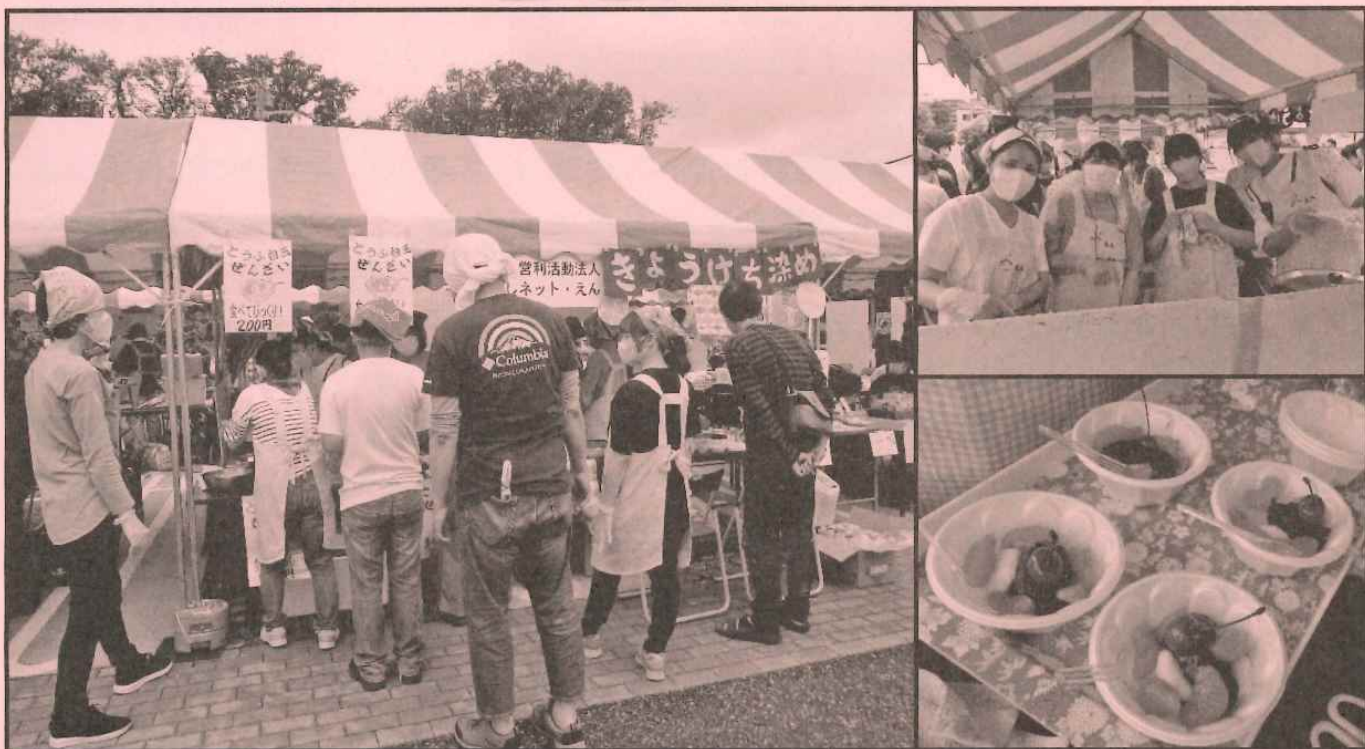


通信

電話048-480-4150

2024年度 夏号

2024.6.2(日) ~福祉フェスティバル~



コロナが5類になった今年は、以前のように『豆腐白玉ぜんざいときょうけち染め』を出店することができた。たくさんの方が来場され、やっと日常が戻ってきたのかなと思う。えんではたくさんの職員が手伝いに来て、とても活気があった。自身も合間をみて他のブースを回っていると、利用者さんと顔を合わせ、訪問した時とはまた違う一面が見られたり、他事業所の職員と挨拶を交わしたり、だいぶ知った顔が増えた。当方も入職して10年近く経ち「地域で働く(暮らす)一員のひとり」でもあることを実感する。

今回初めて準備段階からかかわったが、事前の買い物や道具の準備等することがたくさんある。今まではベテラン職員の方が中心で行っていたことだが、これからは少しずつ担当を分担するなどして引き継いでいきたい。

(ケアサポートえん／佐藤 豊)



NPO 法人 暮らしネット・えん
～第 22 回定例総会の報告～

代表理事 小島美里

回を重ねて第 22 回総会、それでも終わるとホッとするのは変わりません。2月になると、年度の振り返りを始め、次に年間計画を立てると、各事業所のミーティングから理事会まで多くの時間を費やして迎える総会ですから、気合も入ります。原稿をキッチリ用意してのぞむ人、「え～、何を言おうかな」と出たところ勝負の人、性格が出るようですが、それもまた面白い。手前みそですが、各管理者からの報告等がしっかり自分の言葉で語られていたように思いました。

2023 年度事業報告

- *2023 年度は 20 周年にあたりました。実行委員会を立ち上げ、まず年度内の 3 月に記念植樹、24 年度に向けてえん紹介の DVD を作成することになりました。完成は 24 年度中の予定です。
- *大災害時などの BCP (事業継続計画) の作成は、各事業に義務付けられていますが、6 年目になった臨時的避難所実行委員会が中心になって完成することができました。
- *介護保険報酬改定の年度。昨年の介護保険法改正を「先送り」にしたばかりなのに、今度は報酬改定。必死に声を挙げた甲斐あってこちらも先送りにして少しホッとしていたのが年末、1 月 22 日には訪問介護の基本報酬すべての減額が国から発表になりました。それから必死で撤回を求める運動をスタートしましたが、残念ながら年度内には覆すことができず、次年度に引き継ぎました。
- *懸案の世代交代は、11 月にデイホームえんの管理者、ケアプランえんは次年度から新しい管理者になりました。えん副代表でケアマネージャー兼相談支援専門員は資格更新をせず、次年度からはサポートに回ることになりました。
- *コロナが 5 類になり、久々の「みんなのコンサート」、「まどかコンサート」は大入り満員!皆さんに待たれていたのですね。

2024 年度事業計画

- *これまで培ってきたケアのスキル継承のためにも、新しい職員の獲得は喫緊の課題。他の事業所に比べれば職員の余裕がある今こそ、頑張り時です。介護に興味のある方、是非ご連絡ください。
- *2006 年開設した多機能ホームまどかは、地域の方から提供いただいた民家で、懐かしい家屋の雰囲気の利用者さんにも馴染まれてきました。しかしながらすでに築 50 年近くたち、どうすべきか今年度中に結論を出そうと思います。
- *介護保険制度の課題はずっとお伝えしてきましたが、このままでは在宅介護が危ういのではという危機的状況です。介護の問題は、高齢者だけでなく、子や孫にも影響を及ぼします。また、団塊ジュニアは数十年後には必ず高齢者になることを踏まえ、多くの人々に介護制度の危機が届くよう工夫をしたいと思えます。


 NHK・ETV「ハートネットTV」の取材を受けて
 ～訪問介護報酬引き下げに抗議する～

えんを始め、有識者の方々や各訪問介護事業所が“断固反対!”を訴えていた訪問介護の基本報酬引き下げが今年の4月からスタートしてしまいました。

今回NHK・ETVのハートネットTVでその報酬引き下げについて取り上げる事になり、訪問介護事業所であるケアサポートえんが取材を受けることになりました。30分番組の中の一部で“ヘルパーの1日”という事で管理者から密着取材の話しを聞いた時は少し戸惑いながらも、気心知れた担当の利用者さんの元で仕事をしているところを撮られるだけなら協力してもいいかな…と引き受けることになりました。

簡単に考えていましたが、実際には取材班(3名)との顔合わせや事前の聞き取りがあったり、撮影当日はバイクで現場に向かう所やご近所の方とお話ししているところも撮影されました。一番困ったのは利用者さんのお宅を退室した後に玄関前でディレクターからインタビューをされたことでした。ポキャブラリーが豊富な方ではないので「私のしゃべりがTVに流れたら恥ずかしい」などとドキドキしていました。放送当日の直前まで観るのを決めかねていましたが、「結局観るんでしょ?」と夫に促され一緒に観て一安心。後日、放送を観た職場の仲間や家族、親戚から「自然でとても良かったよ」と感想を頂き嬉しく思いました。

さらに後日、落ち着いたところで録画してあった番組をもう一度見返しました。30分間の中で報酬引き下げについてギュッと詰めて取り上げていました。一人一人の日常を在宅で支えるヘルパーの仕事が危機に直面しています。私たちが心身ともに



利用者さんの台所で(番組の一コマより)

健康で、安心して働く事が出来なければ、次世代に繋ぐことも出来なくなってしまうし、利用者さんたちへ良いサービスを届けることも出来なくなってしまう。本当にこのままでいいのですか?と強く思いました。

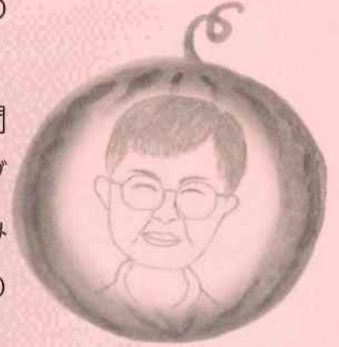
(ケアサポートえん/丸山亜紀)

新 人 紹 介

住宅型有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、認知症の方のためのグループホームを経て、2023年4月にまどかに入職しました。

介護職としての経験は7年ほどになります。それ以前の20数年間は、出版物の編集の仕事をしていました。「7年ほど+20数年+ α （ブラブラしていた時期があったので）」で、だいたいの年齢を計算してみてください。おせじにも「若い」とはいえないのに、忘れ物や失敗の絶えないおっちょこちょいは、すでに職場内で知れ渡っております。

介護家族として右往左往した体験（亡くなった母が認知症でした）と長〜い社会人歴を糧にしつつ、これからも経験を積んでいきたいとします。（多機能ホームまどか／北村洋子）



19年前に祖母がグループホームに入所していた時からえんのご縁が始まりました。今は母がケアマネさん、配食サービス、ヘルパーさんなどでお世話になっています。3月で長年勤めていた会社を退職し、4月からえんの食卓の調理担当として週に2日働いています。衛生管理や、手順など、覚えることがたくさんあり、知らなかったことばかりで緊張と驚きの日々です。早くお役にたてるように頑張りたいと思います。念願のボランティアもデイサービスと庭の小さな菜園でさせていただいています。

（えんの食卓／高田有子）

私は、10数年間介護の仕事をしていました。3年前に脳出血で倒れ半身麻痺になり、これからどうしたらいいのか？と思ったときに基幹相談支援の人達に出会いました。一人一人に向き合ってサポートしている皆さんを見ていて一緒に働きたいと思いました。微力ではありますが、よろしくお願いします。（相談支援／岡部広美）



はじめまして！このたびグループホームのスタッフの一員となりました日浦千尋といたします。訪問サービス A 型の研修受けた際にご縁がありこちらにやってきました。

愛犬との散歩やサッカー観戦、旅行や音楽ライブに行くことが好きです。

介護 ケアのお仕事は初めての私のことを受け入れ優しく見守ってくれる利用者さんと、根気強く丁寧に指導して下さる先輩スタッフの皆さんに恵まれ、勉強の毎日です。

利用者さんやご家族、一緒にお仕事するスタッフの皆さんにとってほっと安心できるような人とケアを目指していきたいです。

(グループホームえん/日浦千尋)



知人からの紹介でえんを知り、この度お仕事させていただく事になりました。家庭菜園が趣味で、毎年試行錯誤しながら色々育てています。「利用者の方、介護に関わるみんなが笑顔で過ごせるように」という思いをもって、皆さんの生活を支援していけるよう頑張ります！（ケアサポートえん/赤澤友美）



住み慣れた練馬を離れ、昨年11月に引っ越してきました。土地勘がない中で訪問介護は大変でしたが、皆様に支えてもらい、今は楽しく仕事をしています。趣味はパッチワーク（色生地の色合わせ）、料理番組をみること。これからも笑顔で楽しい一日一日を大事に過ごしていけるように心掛けてまいります。

(ケアサポートえん/菊池きよ子)



母の介護をきっかけに介護職に興味を持ち、周囲の後押しもあり挑戦してみることにしました。介護職も多岐にわたり、様々な働き方があると知り、自身の役割を模索しています。異文化を感じる事もあり戸惑いながらですが、より良く仕事ができるよう心を柔軟に全身していきたいと思います。(ケアサポートえん/〇林)



2024年6月23日(日)第22回定例総会

記念講演『今、障がい福祉は』に参加して

田口裕貴氏 社会保険労務士 NPO はるいろ理事 NPO 暮らしネット・えん監事

人材難や低い報酬に悩む障害福祉の現状とこれからの、重症心身障害児放課後等デイサービスにたずさわる立場からお話ししていただきました。

近頃、劣悪なケア内容や不正請求が明るみになって世間を騒がせている障がい者グループホームにつながるお話を聞きました。確かに我が地域でも障がい者グループホームが増えています。フランチャイズを含めて異業種からの参入が増えている、サービスの質がよくなかったり、専門的なサービスが提供出来ていなかったりと問題のある事業所が増えていることを日々実感しています。お話を伺い、なるほど!誰でも経営者になり、簡単に収入が得られるとインターネットで紹介されているのだと驚きと憤りを覚えました。

法人の理念でもある、高齢者や障がい者が安心して住み続けられることができる「地域づくり」を共に考えていくべき機会の場となりました。

(相談支援/菊池とみえ)

数年前、近所の放課後等デイサービスが事業所を閉じる事になり、行き先の無くなった子どもたちをどこにお願いすれば良いのかと頭を抱えた。が、閉業する事業所は、自分たちで預かれなくなった子どもたちの行き先を自分たちの責任として、他事業所に頭を下げ、決めて去って行った。最近のケースで言うと、重度の子どもたちが通所していた事業所が、トップが変わった事で方針も変更になり、利用者から見れば突然の閉業を「宣告」された形となった。保護者も相談支援専門員も、必死に事業所を探したが、未だに受け入れ先が決まらない子どももいる。

総会記念講演に参加し、「必要なサービスを必要な利用者に」が叶う地域にしていきたいと言う思いが、さらに強くなった。

(相談支援/初澤郁子)



2024年6月23日(日)記念講演

記念講演「今、障がい福祉は」は新たな知識と理解を深める貴重な機会となりました。社会保険労務士で障害サービスの運営者である田口裕貴さんから、儲けだけを考えている事業所が中にはあるという事実を知りました。放課後等デイサービスではテレビを見せているだけといった支援とは言えない事業所が中にはあることを知り、正直なところ複雑な感情になりました。

まだ学ぶことが多い私ですが利用者一人ひとりがその人らしい生活を送るための支援として機能していくことの重要性と、相談支援専門員としての役割を考える時間となりました。ありがとうございました。

(相談支援／石田法子)

～・～・～ 第21回定例総会に参加して ～・～・～

普段なかなか見聞きする機会がなかった各部署が、どんなお仕事をしているのかを知る機会になりました。事業報告からは、他部署での利用者さんとの関わり方や、そこから試行錯誤を繰り返しながらより良いケア・運営を目指して日々努力されている職員の様子がうかがえました。

利用者さんのご家族や地域の方、外部から協力してくださる方も大勢参加されており、えんという法人・えんの職員の皆さんがこれまで人との関わりを大切にしてきたことがわかりました。そんな皆さんと直接顔を見て挨拶することで、自分もえんの一員になったのだと感じる一日でした。私も“人との関わり”“地域とのつながり”を大切にするという想いを受け継いでいきたいと思いました。

(グループホームえん／日浦千尋)



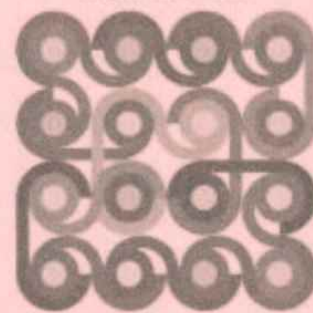
訪問ヘルパーが いなくなる！

—在宅介護の終わりの始まり—

訪問介護の基本報酬減額、これは在宅介護終わりの始まりです。有効求人倍率 15.5 倍、介護職の中でも断トツの高齢化を誇り、赤字事業所が4割弱の訪問介護にトメを刺す仕打ちです。地域を回るヘルパーは絶滅の危機にあります。ヘルパーがいなくなれば介護離職か、要介護の親を放置するか、選択を迫られます。制度は持続しても高齢者の生活は崩壊します。多くの方にこの「在宅介護のかなめ」訪問介護の惨状をご理解いただき一緒に声を上げていただきたいのです。

訪問ヘルパーが いなくなる！

—在宅介護の終わりの始まり—



小島美里

A5判 36ページ 300円

送料：1～5冊 180円
6～9冊 370円
10冊以上 無料

注文申込 NPO 法人 暮らしネット・えん 小島美里 Tel 048-480-4150 Fax 048-201-1311
Mail:npoenmk@jcom.home.ne.jp

◆ 認知症電話相談のお知らせ ◆

認知症に関する悩みごと、介護のコツや生活の工夫等々、お気軽にお電話ください。

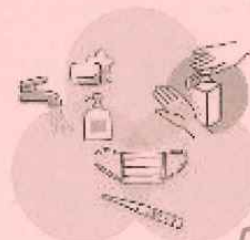
 048-480-4150

認知症カフェえんの森 再開！

これまでは「認知症のことを地域の方に理解していただく」ことに主眼をおいてきましたが、再開を機に、ご本人と介護家族を中心にした集いとします。参加を希望される方は、吉村または小島までお電話ください。

～新型コロナウイルス対策～

5類に変更となりましたが、変わらず感染防止対策につとめてまいります。



地域で暮らし続けていくために 2024年度新規・継続会員募集中！

正会員：1000円 賛助会員：3000円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。

郵便振替(00180-5-314344)



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

TEL:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール:npoenmk@jcom.home.ne.jp

ホームページ:https://npoenmk.com/